

令和5(2023)年度 栃木県立鹿沼高等学校 学校評価《自己評価》 (概要版)

	重点目標	具体策	自己評価	実施状況及び今後の対応
I	学力の向上を図り、生徒一人ひとりの進路希望を実現する	①ICT機器の活用と課題解決型授業 ②進路指導・キャリア教育等の啓発的経験の機会の充実 ③読書活動をより活発にするための読書指導	B	○電子黒板やタブレット端末を活用した授業を行うなど、多くの教科で課題解決型授業を導入することにより自立した学習者の育成を図った。 ○東北大学オープンキャンパスバスツアーの復活やスタディーサプリの活用、夢ナビライブへの参加など進路指導・キャリア教育等の啓発的経験の機会を充実させることができた。 ○本校初となるビブリオバトル全国大会出場を果たすことができ、今後の活発な読書活動推進に繋げたい。
II	豊かな人間性を育み、志の高い自主自立の精神に満ちた生徒を育成する	①部活動の充実 ②総合的な探究の時間・クリエイトの活動の充実 ③ボランティア活動の充実	B	○今年度の部活動加入率は91%と非常に高く、また、多くの部活動で関東大会や全国大会に出場することができ、多くの生徒が本校の特色である文武両道を体現することができた。 ○クリエイティブフォーラムの全体発表ではどのグループも内容・プレゼンいずれにおいても質の高いものであった。今後さらに探究を深め自己の進路に結び付けられるような指導を継続したい。 ○コロナ禍で途絶えていたボランティア活動も少しずつ行えるようになったが、以前のように生徒が主体的に取り組めるよう指導を継続していく必要がある。
III	安心安全な学校環境の確保と開かれた学校づくりを推進する	①迅速な組織対応と生徒理解 ②SC等の活用 ③学校HP等による情報発信の充実と同窓会・PTAとの連携	B	○課題を抱える生徒や支援を必要とする生徒に対しては、学年や教育相談係・SCとの連携により組織的に対応することができた。 ○学校HPを活用した情報発信については、関係各部の意識も高まりアップロード数は増加している。それに伴い、HPの閲覧数も昨年に比べ3割ほど増えている。今後はさらに情報発信に努めたい。 ○今年度新たに「生徒心得見直し委員会」を発足し、生徒・保護者・教員の3者で複数回の委員会を行い、一部の見直しができるようになった。自主自立の精神を養うことができるような生徒心得の見直しについては次年度以降も検討を重ねていきたい。